

△モービック錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】メロキシカム (U) meloxicam 【分類】鎮痛・抗炎症剤 [オキシカム系 NSAIDs]

【単位】△10mg・▼5mg/錠

【常用量】10mg/日 [最大 15mg/日]

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】腎障害悪化の恐れがあるため禁忌となっているが無尿の患者であれば減量の必要はない (5) 【その他の報告】7.5mgを24hr毎 (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】重篤な腎障害のある患者では腎機能悪化のおそれがあるため禁忌 (1) 【その他の報告】減量の必要はないが、腎障害悪化の恐れがあるためできるだけ投与しない、もしくは投与期間を最小限にする (5) NSAIDs 未使用例に比べて急性腎不全の相対リスクが8倍に上昇し、他のNSAIDsよりリスクが高い可能性がある (Huerta C, et al: Am J Kidney Dis 45: 531-539, 2005) Cr 15mL/min 未満では避ける (FDA)

【特徴】オキシカム系のNSAID. COX-2 選択的NSAIDsとされている (COX-1を阻害しないわけではない)。胃粘膜傷害作用が弱い。

【主な副作用・毒性】消化性潰瘍、大腸炎、喘息、急性腎不全、無顆粒球症、SJS、TEN、多形紅斑、アナフィラキシー、血管浮腫、肝障害など。

【モニターすべき項目】貧血、肝機能

【吸収】吸収率100% (1) 食事による影響はない (1)

【F】97% (1) 単回経口投与で89% (U) 初回通過効果の割合は低い (1)

【tmax】7~8.3hr (1) 5~6hr (U)

【代謝】血漿中では代謝物はほとんど認められない (1) 尿中には5'-ヒドロキシメチル体、5'-カルボキシ体、およびチアジン環の酸化的開裂によって生じるオキサム酸化合物などである (1) 主に肝臓のCYP2C9、部分的にCYP3A4が関与 (1) 代謝物に活性はない (1) 主としてCYP2C9により4種の不活性代謝物に代謝される (U) 単回投与時の血清濃度のピークは二峰性を示すため腸肝循環していると考えられる (1)

【排泄】尿中に43%、糞中に47%回収 [po, 180hr まで] (1) 尿中未変化体排泄率0.8%以下 [po, 48hr まで] (1) 未変化体として尿中0.2%、糞中1.6% (U) 代謝物の排泄は尿中、糞中同程度 (U) 【CL】0.38L/hr [po] (1)

【t1/2】25.4~27.6hr (1) 15~20hr (U)

【蛋白結合率】99%以上、主にアルブミン (1) 99.4% (U)

【Vd】11.52L/man (1) 10L/man (U) 10%未満が赤血球中へ移行 (U)

【MW】351.41

【透析性】透析で除去されない (1, Turck D, et al: Eur J Clin Pharmacol 51: 309,1996)

【O/W 係数】1.5 [1-オクタノール/buffer, pH7] (1) 0.1 [1-オクタノール/buffer, pH7.4] (U) 【pKa】1.09, 4.18

【相互作用】抗凝固剤 (ダビガトラン、ワーファリンなど) : 出血傾向の増強の可能性あり要観察 (1)

【効果持続時間】24hr

【更新日】20180403

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。